

【テーマ1】 地震被害の軽減対策等

◎南海トラフ巨大地震をはじめとする自然災害から府民の生命・財産を守り、万一にあっても被害の最大限の軽減が図れるよう、大阪府地域防災計画を修正するとともに、「新・大阪府地震防災アクションプラン」等の着実な推進を図ります。

めざす方向

(中長期の目標・指標) *「新・地震防災アクションプラン」に掲げた被害軽減目標

○南海トラフ巨大地震による被害軽減

【人的被害】 ・集中取組期間 (H27~29) : 人的被害 (死者数) を半減 (約 134,000 人⇒約 67,000 人)
 ・取組期間 (H27~36) : 人的被害 (死者数) を 9 割減 (約 134,000 人⇒約 7,400 人)
 加えて、「逃げる」取組により、「人的被害 (死者数) を限りなくゼロに近づけること」を目指す。

【経済被害】 ・取組期間 (H27~36) : 経済被害 (被害額) 5 割減 (約 28.8 兆円⇒約 12.5 兆円)

地域防災計画の修正

<今年度何をするか (取組の内容、手法・スケジュール等) >	<何をどのような状態にするか (目標) >	<進捗状況 (H29.3月末時点) >
<p>■ 地域防災計画の修正</p> <p>・近年の法令改正等を踏まえ、関係機関等と調整を図りながら、28 年度中に大阪府地域防災計画を修正する。</p> <p>(スケジュール)</p> <p>～ 8 月 府関係部局及び関係機関との調整 9 月 修正素案策定 2 月 修正案策定 2 月中 パブリックコメント 3 月 防災会議において決定</p>	<p>◇ 活動指標 (アウトプット)</p> <p>・関連法の改正、防災基本計画の修正、府の防災対策の現状を踏まえ、地域防災計画の修正 (28 年度中)。</p> <p>◇ 成果指標 (アウトカム) (定性的な目標)</p> <p>・修正した地域防災計画を着実に推進することで、地震被害の軽減を図る。</p>	<p>○関連法の改正、防災基本計画の修正、熊本地震の教訓、府の防災対策の現状等を踏まえ、防災会議で地域防災計画を修正。(H29.3.27)</p> <p>○市町村危機管理部局へ府計画の修正概要を説明する等、府計画を踏まえた市町村計画の修正の働きかけを実施。</p>

新・地震防災アクションプランの進捗管理

<今年度何をするか (取組の内容、手法・スケジュール等) >	<何をどのような状態にするか (目標) >	<進捗状況 (H29.3月末時点) >
<p>■ 新・地震防災アクションプランの進捗管理</p> <p>・平成 27 年度に策定した手法に基づき進捗状況を評価しつつ、進捗管理を実施する。</p> <p>(スケジュール)</p> <p>6 月 平成 27 年度の進捗状況等を H P で公表 1～3 月 進捗状況調査・部局調整 (H28 実績)</p>	<p>◇ 活動指標 (アウトプット)</p> <p>・27 年度の進捗状況を公表 (6 月) ・28 年度も引き続き進捗管理を実施 (H29.6 月公表)</p> <p>◇ 成果指標 (アウトカム) (定性的な目標)</p> <p>・各部局において、アクションプランに基づいた計画的な事業推進に取り組むことで、発災による死者数を限りなくゼロに近づけるとともに、その建物被害や経済的被害についても最小限に抑える。</p>	<p>○被害を最小限に抑えるため、各部局において、PDCA サイクルにより、各アクションの進捗状況の評価を行い、計画的な事業推進に取り組んだ。</p> <p>・27 年度の進捗状況を公表。(H28.6.30)</p> <p>・28 年度の進捗結果を H29.6 月末までに公表予定。</p>

石油コンビナート等防災計画の着実な推進

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H29.3月末時点）>
<p>■石油コンビナート等防災計画の着実な推進 ・防災計画の進行管理として、平成27年度から平成29年度を第一期とした特定事業所の対策計画の平成27年度実績をとりまとめて公表する。</p> <p>（スケジュール） ～7月 実績報告書のとりまとめ 8月 公表 ～3月 課題の抽出、次期計画に向けた重点対策の検討</p>	<p>◇活動指標（アウトプット） ・特定事業所の取り組みの進捗状況の把握・公表（8月）</p> <p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標） ・進捗状況を把握・公表することで、石油コンビナート地区の特性を考慮した防災・減災対策を促進するとともに、府民の防災計画への理解を深める。</p>	<p>○特定事業所の取り組みの進捗状況の把握し、とりまとめ結果を公表。（H28.8） ・進捗状況を把握・公表することで、石油コンビナート地区の特性を考慮した防災・減災対策を促進するとともに、府民の防災計画への理解を深めた。</p>

【部局長コメント（テーマ1総評）】

<取組状況の点検>	<今後の取組みの方向性>
<p>■地域防災計画の修正 当初の目標を、達成することができました。 ・地震被害の軽減を図るため、関連法の改正、防災基本計画の修正、熊本地震の教訓、府の防災対策の現状等を踏まえ、地域防災計画を修正しました。</p> <p>■新・地震防災アクションプランの進捗管理 当初の目標を、達成することができました。 ・アクションプランに基づいた各部局の計画的な事業推進により、地震被害を最小限に抑えるため、PDCAサイクルにより、各アクションの進捗状況の評価しつつ、進捗管理を実施しました。</p> <p>■石油コンビナート等防災計画の着実な推進 当初の目標を、達成することができました。 府民に石油コンビナート地区における防災・減災対策への理解を深めるため、石油タンクの耐震化などの進捗状況をホームページなどで公表することで府民の防災計画への理解を深めました。 また、非常用電源の高所移転など対策事例を事業者間で共有することで、石油コンビナート地区全体の更なる防災・減災対策の取組みを推進しました。</p>	<p>■地域防災計画の修正 ・南海トラフ巨大地震をはじめとする自然災害から府民の生命・財産を守り、万一にあっても被害の軽減を図るため、引き続き関係機関等と連携のもと防災対策に取り組む。 なお、新たな事象が生じた場合には、随時、地域防災計画を修正してまいります。</p> <p>■新・地震防災アクションプランの進捗管理 ・地震被害を最小限に抑えるため、引き続き、PDCAサイクルにより、各アクションの進捗状況の評価を行い、その見直し・改善につなげ、着実な事業推進に取り組んでまいります。</p> <p>■石油コンビナート等防災計画の着実な推進 ・引き続き、「大阪府石油コンビナート等防災計画」に基づき、油の漏えい防止などの各種対策、警察や消防などの関係機関と連携した訓練の実施などを着実に進めていきます。</p>

自己評価

達成